

議会だより

伊那市議会事務局

TEL 02665-968149
FAX 02665-769117
E-mail gkj@inacity.jp



伊那市議会6月定例会では19議案と請願・陳情6件・議員提出議案4件が提案され審議を行いました。今定例会に上程された議案を紹介します。

全会一致で可決された議案 (一般案件)

- ◆《初日即決議案》
◆財産(物品)の取得
(中型バス車両の更新)
- ◆委託協定の変更
(荒井富士山橋補強工事)
- ◆《委員会付託議案》
◆箕輪町との伊那地域定住自立圏形成に関する協定の變更
- ◆南箕輪村との伊那地域定住自立圏形成に関する協定の變更
- ◆市道路線の認定
- ◆市道路線の廃止

《追加即決議案》

- ◆財産(物品)の取得
(学校備品 電子黒板等)
- ◆請負契約の締結
(東春近小学校給食調理場改築 建築工事)

- ◆請負契約の締結
(長谷地域のケーブルテレビネットワーク光化整備工事)

(条例案件)

- ◆伊那市放置自動車等の発生の防止及び適正な処理に関する条例
(新たな条例の制定)
- ◆伊那市自転車等の放置防止に関する条例
(新たな条例の制定)
- ◆伊那市福祉医療費給付金条例の一部改正
(対象者の範囲の拡大)
- ◆伊那市子育て支援センター条例の一部改正
(美篤子育て支援センターの廃止及び高遠子育て支援センターの新設)

◆伊那市廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部改正

- (錦町新地公衆便所の廃止)
- ◆伊那市学童クラブ条例の一部改正
(高遠小学学童クラブの移転↓ 旧高遠保育園園舎)

(予算案件)

- ◆令和元年度伊那市一般会計第1回補正予算
- ◆令和元年度伊那市公有財産管理活用事業特別会計第1回補正予算

《追加即決議案》

- ◆令和元年度伊那市一般会計第2回補正予算
- ◆令和元年度伊那市営駐車場事業特別会計第1回補正予算
(生涯学習センター及び再開発ビル駐車場改修事業)

(請願・陳情)

- ◆地方財政の充実・強化を求める意見書の提出を求める請願
- ◆国の責任による35人学級推進と、教育予算の増額を求める請願
- ◆義務教育費国庫負担制度の堅持を求める請願
- ◆議員提出議案
◆地方財政の充実・強化を求める意見書の提出
- ◆国の責任による35人学級推進と、教育予算の増額を求める意見書の提出
- ◆義務教育費国庫負担制度の堅持を求める意見書の提出
- ◆新たな過疎対策法の制定を求める意見書の提出

賛否の分かれた議案等(審議結果と各議員の賛否一覧)

○…議案、請願・陳情に賛成 ×…反対 ☆…趣旨採択
なお、原則として議長は採決に加わりません

区分	件名	委員会結果	池上直彦	小林眞由美	田畑正敏	馬場毅	原一馬	松澤嘉	三澤俊明	宮原英幸	白鳥敏明	二瓶裕史	野口輝雄	唐澤千明	唐澤稔	宮島良夫	飯島進	飯島光豊	柴満喜夫	前田久子	柳川広美	飯島尚幸	黒河内浩(議長)	本会議結果
請願・陳情	◆沖縄県名護市辺野古における米軍新基地建設の中止を求める請願	不採択	×	×	×	○	×	×	×	×	×	○	×	×	×	○	×	○	×	×	○	×	×	不採択
	◆消費税の複数税率導入中止を求める陳情	不採択	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	○	×	×	○	×	×	不採択
	◆消費税の適格請求書(インボイス)保存方式導入中止を求める陳情	趣旨採択	☆	☆	☆	○	☆	☆	☆	☆	☆	☆	☆	☆	☆	☆	☆	☆	○	☆	☆	○	☆	趣旨採択

6月定例市議会

一般質問から

伊那市議会6月定例会の一般質問は、6月19日、20日、21日の3日間にわたって行われ、18人の議員が質問に立ちました。質問と答弁の主な内容をお知らせします。



池上直彦

令和元年度教育委員会の方針について

池上直彦議員 伊那市の教育理念「はじめに子どもありき」の特徴的な取り組みである「暮らしのなかの食」の具体的な取り組みは。

問 池上直彦議員 伊那市の教育理念「はじめに子どもありき」の特徴的な取り組みである「暮らしのなかの食」の具体的な取り組みは。

答 教育長 平成27年度から市内全校で実施し、毎年各校で工夫した取り組みについて実践発表等行っている。今後地域と連携し農業体験等を実施していく。

問 池上直彦議員 長谷地域、長谷中学校の取り組みを参考にしているか。

答 教育長 農を中心に学校と地域が双方向的に関わる取り組みは、それぞれの学校の取り組みにおいて大いに参考にできる。

問 池上直彦議員 信州型コミュニティスクールの現状は。

答 教育長 学校が地域住民と一体となって子どもを育むことを目的に、すべての小中学校で取り組まれている。情報交換等で更なる質の向上を目指す。

問 池上直彦議員 ICT教育の現状は。

答 教育長 来年度より始めるプログラミング学習にむけた準備が進んでいる。教員の意識も高まっている。

社会教育などについて

問 池上直彦議員 歴史文化などの保護・継承について考えは。

答 教育長 本年度「歴史文化基本構想」を策定し、保存方法等を盛り込んでいく。

問 池上直彦議員 伊澤修二にゆかりのある「仰げば尊し」を市内の小中学校の卒業式で歌唱することはできないか。

答 教育長 卒業式では各校の教育活動を映し出す様々な歌が歌われている。伊澤修二を学ぶ中で歌われることが期待できる。

小中学校の名称について

問 池上直彦議員 合併によりほぼ伊那市の中央に位置する伊那東小学校と東部中学校の名称変更の可能性は。

答 教育長 過去の経緯で今の名称がある。名称の変更は児童生徒や同窓生、地域の皆様等の気持ちを踏まえて検討されることが必要と考える。



唐澤稔

市単事業、通学路について

問 唐澤稔議員 地区要望などに対する市単事業の

状況は。

答 市長 限られた予算の中で、公平性、緊急性、費用対効果などを勘案しながら、効果的な予算執行に努めている。

問 唐澤稔議員 県道伊那駒ヶ岳線に対する市の対応は。

答 市長 長野県の管理であるが、狭く坂道であり危険な通学路と認識している。特に合同庁舎西交差点の西側は狭く、右折車線もないため、伊那文化会館等でのイベント時には激しい渋滞となっている。土地所有者との調整が必要であり、事業化には至っていないが、引き続き要望を行うとともに、県と協力して対応していく。

キャッシュレスについて

問 唐澤稔議員 キャッシュレス決済に対する市の対応は。

答 市長 消費者には、お金を持たず安心して買い物ができる利便性とともに、防犯面についても安全であること、また事業者には、現金管理業務のコスト軽減や新規の顧客獲得などメリットもある。市では先月、経済産業省の担当者を招き、キャッシュレス化の取り組みに関

わる講演会を開催したほか、商工団体においても、キャッシュレス化を推進するためのセミナーを開催している。キャッシュレス化による優遇措置なども含め、普及に向けた周知に努めていく。



宮島良夫

幼児教育無償化による伊那市の対応について

問 宮島良夫議員 10月から始まる予定の幼児教育無償化の制度概要は。また、今後の対応は。

答 市長 無償化の対象は3歳から5歳までの全ての子どもと、0歳から2歳までの住民税非課税世帯の子どもが対象となる。給食費は実費徴収となるが、3歳以上児のうち年収360万円未満相当世帯の子ども及び第3子以降の子どもは免除となる。今後は、国の示すスケジュールに沿って進めていく。

保護者への周知はお知らせや市報等を通じて8月末までに行うとともに、私立保育園には説明会を開催する。

問 宮島良夫議員 対象とならない認可外保育園について、県が半額を負担する制度があり、安曇野市では残りの半額を負担しているが、伊那市も負担すべきではないか。

答 市長 県からも協力依頼がきているが、認可外保育園については約4分の3の児童が市外から通園しているため、近隣市町村とも協議し検討する。

消防団員のなり手不足について

問 宮島良夫議員 消防団員の負担軽減について報道がされるなか、市長は消防の大会を今後も継続していくとしているが、大会への参加を希望する団だけにできないか。

答 市長 合併当初、出場チームは39チームあったが、現在は21チームまで削減し、団員の負担軽減と大会運営の簡素化を図ってきた。今後も分団等の意向により、負担軽減を考慮していくことは可能と考える。



白鳥敏明

道路防災予算の確保について

問 白鳥敏明議員 今年度の道路防災の各地区要望数と、実施予定箇所及び予算は。

答 市長 地区からの要望は10件、実施予定箇所は6件。当初、測量調査委託費200万円、工事費1656万円を予定していたが、予算編成後に崩落した市道六道原3号線の擁壁復旧費300万円を、今回の補正予算に計上している。

問 白鳥敏明議員 美篤地域市道の石積擁壁について、崩落予防の事前対策工事の実施を。

答 市長 石積擁壁の調査結果に基づき対応していきたい。特に下県地区の市道4193号線は通学道路でもあるため、現地調査し早期に対応したい。予算の有効利用手段として、予防措置の効果が望めるコンクリートの目地詰は、地元への材料支給で対応可能か検討したい。

幼児教育・保育の無償化後の子育て支援策について

問 白鳥敏明議員 幼児教育・保育無償化後の子育て世代への移住定住の支援策は。

答 市長 これからは各市町村の対応が拮抗してくる。無償化によって保育料軽減の面では他地域との差が少なくなるが、無償化の制度に上乘せした保護者負担の軽減は継続していくほか、保育環境の充実を図っていく。

問 白鳥敏明議員 出産祝金について、伊那地域も第一子から適用し、金額の見直しを。

答 市長 伊那地域は平成27年度から実施している。目的等が異なるため現行の制度は当面継続していくが、全体的なバランスを見ながら考える時期にきている。



飯島尚幸

子どもの安全対策強化について

問 飯島尚幸議員 犯罪防止の観点から通学路への防犯カメラの設置を望む。また、「子ども見守り隊」の腕章やジャンパーの購入など、市負担を強く願うが。

答 市長 学校内をはじめ道路には市独自で設置はしていない。今後個人情報等の検討を含め研究する。

答 市長 大変重要な問題と考えている。認証取得にはいくつかのハードルもあるが、市農業振興センターがJ・A・県などと各種情報を共有しながら推進に向け取り組みたい。

問 食品ロス削減推進法について

答 飯島尚幸議員 先頃の国会で食品ロス削減推進法が超党派による議員立法として成立した。ここには地方自治体が食品ロス削減のための推進計画を策定するよう努力義務を課しているが取り組みに対する決意は。

GAP(農業生産工程管理)の認証取得推進について

問 飯島尚幸議員 農水省も積極推進しているGAPの認証取得は、伊那市農業の充実や農産物の安全確保などから必要。今後の取り組みの意向は。

答 市長 まいさば伊那市による生活困窮家庭への食糧支援など進めているが、まず市民の取り組みが最重要であり、様々な啓発や情報発信に努める。

問 保育「無償化」について

答 飯島光豊議員 給食費を徴収した場合、これまでの保育料より負担の増える所得階層が年収360万円未満で生まれるのではないかと懸念する。



飯島光豊

保育「無償化」について

問 飯島光豊議員 給食費を徴収した場合、これまでの保育料より負担の増える所得階層が年収360万円未満で生まれるのではないかと懸念する。

答 市長 その場合は負担増とならないように配慮する。

問 飯島光豊議員 小規模保育園のあり方について再検討が進められるなか、園児数22名の新山保育園をはじめ、市内19の保育園すべてを対象にした「公立保育園民営化に関するアンケート調査」が市長名で行われているのは事実か。

答 市長 アンケート調査は行ったが、一つの選択肢として民営化を検討するための調査であり、突然出てきた唐突な

話ではない。民営化を進めるための調査ではない。

特定健診の受診率向上について

問 飯島光豊議員 健康保持、病気の予防早期発見のための「ヤング健診」、「20歳からの歯科検診」などの実施を。

答 市長 20歳以上39歳以下の市民に対しては「はつらつ健診」を実施しており、市内の各会場を巡回しているので受診をしてほしい。



三澤俊明

小規模・零細事業所の事業承継について

問 三澤俊明議員 事業承継を望む事業所に対して、具体的な支援をしているか。

答 市長 アンケート調査や企業訪問の中で相談や事業承継診断を希望する事業所を把握して、商工団体、金融機関、税理士等で組織する「伊那市創業支援連絡会議」で連携を図りながら相談に対応している。

事業承継に当たっては後継者への株式譲渡、借入金や債務保証の引継ぎなどの手続きが必要となるため、早い段階から専門家につなげていく事が重要と考える。

問 三澤俊明議員 南信工科短大の学生を対象にして、創業支援と事業承継とのマッチングを試みたらどうか。

答 市長 第2創業に関するマッチングは専門性が高いことから、「長野県事業引継ぎ支援センター」と連携して行っていく。南信工科短大生については、まず地元企業のために力を発揮してほしい。

問 三澤俊明議員 「県事業承継ネットワーク」と情報のやり取りは行っているか。

答 市長 伊那市も組織のメンバーになっている。このネットワークを今後も活用し、各事業所が持つ個性や技術を絶やすことがないようにしたい。



田畑正敏

松茸振興によるふるさと納税確保について

問 田畑正敏議員 松茸が出来る赤松林を「松茸山お守りエリア」と位置付け保全してはどうか。

答 市長 松茸山については優先的に保全する対象と考える。ふるさと納税の活用を含め、松茸を生む松林の保護育成対策を推進していく。

問 田畑正敏議員 松茸によるふるさと納税増額を目指す「松茸プロジェクト」を足してはどうか。

答 市長 伊那市にとって松茸は他にない貴重な地場産品であるので、ふるさと納税返礼品として力を入れていきたい。今後、提案いただいた内容について積極的に対応していく。

問 インバウンド(外国人観光客)の受け入れ体制について

答 田畑正敏議員 国際観光光について、どのような取り組みがされているのか。

答 市長 山・花・食・高遠石工を機軸とした伊那市観光のPRとプランの造成を進めている。また、農家民泊を主軸としたインバウンドの受け入れ体制の強化を図ってきている。

問 田畑正敏議員 伊那市の玄関であるべき観光案内

所の開設が必要と思うが考えは。

答 市長 高遠石工等の通年観光を考えたとき、1年を通じてオールラウンドで観光案内ができる常設の観光案内所が必要と考える。伊那市観光協会のあり方について、土・日開設も含めて検討を進めていく。



飯島進

「高速道路跨道橋」について

問 飯島進議員 中央自動車道に架かる「高速道路跨道橋」は築45年が経つ。点検・補修工事が及ぼす市への将来的財政負担は。

答 市長 飯島町の25橋に次いで伊那市の跨道橋は22橋と多い。中央自動車道の成り立ちとはいえ、多くを管理しなければいけない自治体と、しかもよい自治体で差がある事は問題と思う。水路橋を除く跨道橋19の内、内部で検討する健全度レベル2(予防保全段階)が16橋、レベル3(早期の措置段階)が3橋。将来的に設計、工事で13億5千万円程を見込み、半

分以上が市の負担となる。国やネクスコにも補助金の嵩上げをお願いしていく。水路橋は、県営土地改良事業として平成29年度から令和元年度にかけて橋梁長寿命化を図っている。

問 飯島進議員 建設から約半世紀経つ跨道橋の中で、時の流れと共に利用頻度が低い橋もある。これは最も大事なことだが、「地元の理解が得られ」廃止が可能な跨道橋があれば「廃止」を検討する必要、時期が来ていると思うが考えは。

答 市長 地元の皆さんと話をして、老朽化の状況、橋の果たしている役割の大きい、小さい等を考慮に入れ、橋の統廃合とか撤去を視野に入れ、考えていく時期が来ていると考える。



二瓶裕史

子どものいのちを守るためにできること

問 二瓶裕史議員 ①緊急時に子どもたちが自らの命を守ることができるよう、安

全教育が必要と考えるが。②「見守り隊」に対して最大限の支援を。現行の支出を増額することは可能か。

答 教育長 ①安全教育・日常の訓練は非常に大事である。安全教育に努めていきたい。

教育次長 ②各校の求めにに応じて必要経費として各校1万2千円を上限に支出をしている。増額については、各校の状況をよく把握する中で検討したい。

市内外から選ばれる伊那市

問 二瓶裕史議員 ①能力ある若者の市外への流出を防ぎ、更には、市外からの転入（移住）を増やすためにも、専門学校または大学誘致を。②サテライトキャンパスの誘致はどうか。③「田舎暮らしアンケート調査」で「困った点・不便に感じる点」として挙げられた「公共料金」「公共交通機関」「近所付き金」「公共交通機関」「近所付き金」「行政サービス」について、どのように考えるか。

答 市長 ①地域経済の活性化・にぎわいの創出の観点から有効であると考えますが、誘致には大変大きなお金がかかる。②大学等の研究所・インキュベーション施設・研究施設なども考えられる。効果を検証しながら進めていく。③いろいろな課題があっても、解決は不可能ではないので、一緒に考えてもらいたい。

ン施設・研究施設なども考えられる。効果を検証しながら進めていく。③いろいろな課題があっても、解決は不可能ではないので、一緒に考えてもらいたい。

ン施設・研究施設なども考えられる。効果を検証しながら進めていく。③いろいろな課題があっても、解決は不可能ではないので、一緒に考えてもらいたい。



野口輝雄

高齢者がより安全に安心して暮らせる伊那市にするための提言

問 野口輝雄議員 免許証自主返納の促進を図るための市独自の窓口の設置や、高齢者が安心して暮らせるために、乗り合いタクシーの実用化を早期にすべきである。

答 市長 市では生活環境課交通安全係を窓口として警察と連携を密にしている。ドアツードアの乗り合いタクシーは、早ければ年内に部利用できる。

伊那市奨学金返還支援事業について

問 野口輝雄議員 より多くの人材確保のために、30歳以上でも家族持ちなら応募できるようにしたらどうか。

より多くの人材確保のために、30歳以上でも家族持ちなら応募できるようにしたらどうか。

答 市長 制度が始まったばかりなので、今後必要性なども分析して条件の見直しについて研究をしていく。

市民体育祭の更なる活性化のために

問 野口輝雄議員 スポーツ関連事業が文化スポーツ部に移管された事を契機に、市民体育祭運営委託料の増額や市長杯カップの準備など、活性化に向けて取り組んでほしい。

答 市長 現在スポーツ協会から市民体育祭に関する要望は出ていないが、事業に見合った適正な委託料を算出し、また、カップ等の管理のあり方などについて、専門部からも意見を伺いながら市民体育祭の活性化に取り組む。

から市民体育祭に関する要望は出ていないが、事業に見合った適正な委託料を算出し、また、カップ等の管理のあり方などについて、専門部からも意見を伺いながら市民体育祭の活性化に取り組む。

から市民体育祭に関する要望は出ていないが、事業に見合った適正な委託料を算出し、また、カップ等の管理のあり方などについて、専門部からも意見を伺いながら市民体育祭の活性化に取り組む。



宮原英幸

伊那市50年の森林(もり)ビジョンの進捗について

問 宮原英幸議員 モデル地域の場所はどこで、その施設計画はどうなっているか。

モデル地域の場所はどこで、その施設計画はどうなっているか。

答 市長 西春近権現山と長谷鹿嶺高原付近を選定、管理意向調査も終了し、林道開設等を進める。全市林地台帳を整備中で順次公開を開始した。

問 宮原英幸議員 松くい虫の今後の対策は。

答 市長 最先端地域、人的被害が出そうな場所等優先的に処理している。ドローンでの被害木探索も活用し、早期発見処理に努めていく。薬剤散布は具体的検討にはなっていない。樹種転換では広葉樹植樹をしているが、適地適木を考慮し、混交林育成等、識者の知見も積極活用していく。

優先的に処理している。ドローンでの被害木探索も活用し、早期発見処理に努めていく。薬剤散布は具体的検討にはなっていない。樹種転換では広葉樹植樹をしているが、適地適木を考慮し、混交林育成等、識者の知見も積極活用していく。

優先的に処理している。ドローンでの被害木探索も活用し、早期発見処理に努めていく。薬剤散布は具体的検討にはなっていない。樹種転換では広葉樹植樹をしているが、適地適木を考慮し、混交林育成等、識者の知見も積極活用していく。

防災上の危機管理について

問 宮原英幸議員 断水時の対応はどうか。

答 市長 給水車の活用、災害協定者による供給支援で対応する。浄水器は各支所等にも設置済み。簡易水道は小規模配水池が多く、今後、緊急遮断弁を設置する予定はない。

給水車の活用、災害協定者による供給支援で対応する。浄水器は各支所等にも設置済み。簡易水道は小規模配水池が多く、今後、緊急遮断弁を設置する予定はない。

問 宮原英幸議員 設備及び水源管理はどうか。

答 市長 遠方監視装置や職員監視で24時間対応、

設備改修等は水道基本計画により実施する。水源地の外資による買収等は現在ないが、注視していく。

問 宮原英幸議員 文書類の浸水対策はどうか。

答 市長 生命の安全確保が最優先となるが、今後は退避が必要な文書の基準作り、データ化の推進等、必要に応じて検討していく。



唐澤千明

人生100年時代に向けての取り組みについて

問 唐澤千明議員 ①定年年齢の引き上げ傾向は民間企業だけでなく公的機関なども対象となっている。定年年齢の支給年齢に合わせて65歳まで引き上げ、定年後の再雇用も合わせ段階的に引き上げていく考えは。②県と市町村では高齢者の就業支援などを進めるため「しあわせ信州生涯活躍応援宣言」を発表したが考えを。

民間企業だけでなく公的機関なども対象となっている。定年年齢の支給年齢に合わせて65歳まで引き上げ、定年後の再雇用も合わせ段階的に引き上げていく考えは。②県と市町村では高齢者の就業支援などを進めるため「しあわせ信州生涯活躍応援宣言」を発表したが考えを。

民間企業だけでなく公的機関なども対象となっている。定年年齢の支給年齢に合わせて65歳まで引き上げ、定年後の再雇用も合わせ段階的に引き上げていく考えは。②県と市町村では高齢者の就業支援などを進めるため「しあわせ信州生涯活躍応援宣言」を発表したが考えを。

が始まり法制化に期待している。定年後も豊富な経験や能力を再雇用等で市政に生かして欲しい。

②高齢者が豊かな知識・経験を活かし地域の支え手や経済の担い手として、健康で生涯活躍できる社会を目指していきたい。

森林整備から地域産材利用について

問 唐澤千明議員 ①森林環境整備においてドローンを活用したスマート林業の推進を図っているが、その成果と今後の取り組みは。②「森の循環」を推進するため、また、地域産材の活用拡大のため、関係者間での連携が必要だが考えを。

答 市長 ①松くい虫の感染本鹿にGPSを装着しての調査、更に林業現場等でのドローン活用を進める。②地域産材が欲しい時に供給されていない。意見交換会等で価格や安定供給の課題を検討していく。



小林眞由美

「県道車屋・大久保線」の道路拡幅改良工事等について

問 小林眞由美議員 目に見える道路拡幅改良工事が早期に実施されるよう働きかけを。

答 市長 限られた予算枠の中で予算確保が厳しい状況であるが、早期実施のために地域と行政が一緒に要望活動を行うっていく。

6次産業化推進のための農業の振興について

問 小林眞由美議員 農業用水の安定確保と農地の集積・拡大整備で耕作しやすい環境づくりを。

答 市長 一次産業が基幹と考え、農業の効率化策、農地の集積・拡大、老朽化した用水路整備等、関係する団体との連携を図っていく。

問 小林眞由美議員 不足する農業の担い手確保の具体的な取り組み策は。

答 市長 各地区で人材確保を図りつつ、集落営農組織の経営基盤強化の支援を実施している。国・県の補助事業と市の施策を併せて活用し、各関係団体と連携をして、年齢性別を

問わず担い手を育成していく。

問 小林眞由美議員 農産物の高品質化、特産品開発とブランド化で販路拡大を。

答 市長 入野谷在来そば、やまぶどうワイン「山紫」など特産品開発やブランド化に取り組んでいる。他にも新宿高野など都市部で、伊那農産物の販売やPRを行っている。



前田久子

災害時の対応策について

問 前田久子議員 ①障害者のための防災ハンドブック作成を。②避難所へのWi-Fi環境整備を。③妊産婦専用の避難所設置を。④貴重な栄養源になる乳児用液体ミルクの備蓄を。

答 市長 ①障害者から聞き取りを行い、既存の制度を充実する。②公共施設9か所に整備済みで、今年度中に小中学校へ整備する。③医師・看護師が救護所へ詰めて人手が足りず難しい。④長期の備蓄が難しいため、災害応援協定企業からの搬入

入協力などの方法を検討したい。

問 前田久子議員 ①熊出に放送できないか。②下校を知らせる放送を流し、地域の方々に安全を見守ってもらう事はできないか。

答 市長 ①緊急性、重要性に基づいて防災無線を活用する。②いくつかの課題もあり、不審者情報については当面メールを活用して対応したい。

問 前田久子議員 ①ドナー登録をして骨髄の型が適合しても、仕事を休めず断念が多いとのこと。助成制度の導入を。②小児がんで骨髄移植をすると予防接種で得た抗体を失う。再予防接種に必要な20万円近い費用の負担軽減はできないか。

骨髄バンクドナー助成事業について

答 市長 ①、②県の補助制度に準じた助成制度の導入について前向きに検討したい。



松澤嘉

8050(60690)問題の市の取り組みについて

問 松澤嘉議員 市として今後どの様に取り組みむのか。

答 市長 引きこもりの子どもを80代の親が見ているケースは社会問題とされている。一方、片寄った見方は本人や家族を追い詰める事にもなり心配している。多くの関係機関が協働し、就労等サポート出来る体制づくりを進める。相談窓口等の情報は市民手帳や市報で確認出来るので活用してほしい。

問 松澤嘉議員 成年後見人制度の取り組み状況は。

答 市長 利用促進のため、平成30年度に「伊那市成年後見制度促進基本計画」を策定した。上伊那成年後見センターや関係機関と連携し、制度の周知を図るとともに福祉関係者への啓発を行っていく。

問 松澤嘉議員 健診の受診率向上のための取り組みは。

答 市長 平成29年度の特定保健指導の実施率が全国の市区において第3位となり、厚生労働大臣からメッセージが届

問 松澤嘉議員 健診の受診率向上のための取り組みは。

答 市長 平成29年度の特定保健指導の実施率が全国の市区において第3位となり、厚生労働大臣からメッセージが届

問 松澤嘉議員 健診の受診率向上のための取り組みは。

答 市長 平成29年度の特定保健指導の実施率が全国の市区において第3位となり、厚生労働大臣からメッセージが届

き、高い評価を受けている。今後も地道な啓発活動等により受診率の向上に努めていく。

問 松澤嘉議員 マレットゴルフ場の利用料金やコース管理等の考え方は。

答 市長 利用料金は条例で定めており、維持管理費などによりバラつきはやむを得ないと考えるが、必要があれば見直していきたい。コース管理は、地区の人達や利用者団体と連携を図り、より良い施設として維持できるよう努めたい。ホールカップの統一は考えていない。



柳川広美

オスプレイの伊那市内での飛行について

問 柳川広美議員 市内で目撃が相次いでおり、保育園近くも飛行している。死傷者が出る等事故が多い米軍機であり、保育園や学校等の上空を飛行しないよう国や県へ求めるべき。

答 市長 全国市長会は米軍機の低空飛行を行わないよう提言している。

天竜川・三峰川の新しいハザードマップについて

問 柳川広美議員 ハザードマップに千年に一度の豪雨の被害想定が追加された。①天竜川の浸水地域には何人住んでいるのか。②三峰川は何人か。③同時浸水の場合は。④避難場所と避難判断基準は。⑤伊那公園や美原公園等での避難可能人数及び上の段にある避難所の収容人数は。⑥中央清掃センター跡地は平らな芝生の公園にして災害時にも使用可能に。

答 市長 ④状況により安全な場所へ避難する。天竜川水位計と県河川砂防情報ステーションの情報を基に判断する。三峰川は美和ダムで異常洪水時防災操作を行う場合に避難情報を発令する。⑥スポーツ施設や防災拠点等を検討中。総務部長 ①約1万人。②約1万1千人。③約1万9千人。⑤市営球場等で約5千人、避難所で約2千5百人。



馬場毅

障がい者や高齢者を守る取り組みと課題について

問 馬場毅議員 近年発生している災害で、高齢者や障がい者の方たちが犠牲となった割合が非常に高いことが指摘されているが、民間の福祉施設に対して、市として運転資金や修繕費の補助をすることはできないか。また、伊那市における福祉避難所の状況は。

答 市長 施設の運営に係る補助というのには制度的には難しいと考える。福祉避難所の最大受入れ可能人数は、日中300名、夜間90名である。毎年、災害応援協定先と打ち合わせを行っている。今後、避難所を開設する事業所の運営、手続き・手順等を含めたガイドブックの作成に向けて検討していく。

**命と平和を大切に
教育の推進を**

問 馬場毅議員 被爆自治体が行う平和事業を活用して、伊那市の子供たちの平和学習に役立ててはどうか。また、原爆の火と被爆ヤナギ・被爆アオギリのある丸山公園を、伊那市の子供たちの平和学習の場に位置付けてはどうか。

答 市長 施設は、定例会開会前に開催される議会運営委員会前日正午までに提出されたものを、その定例会で原則審査します。ご提出いただきました質問・陳情は、定例会本会議で委員会へ付託し、審査報告の後、本会議で採決します。次回9月定例会審査の受理期限は、8月23日正午です。(期限は、変更となる場合もあります。議会事務局へご確認の上でご提出ください。)

答

教育長 広島市の被爆体験伝承者や朗読のボランティア等を全国に無料で派遣する「被爆体験伝承者派遣事業」は、平和について学ぼうとする際の例として、小中学校に案内をしていきたい。市内に多く残されている戦争にかかる遺構・遺物を、教育活動に位置付けることについて、それぞれの学校の取り組みを期待する。

で、あらかじめ議会事務局までご連絡ください。

議会中継

議会中継は、伊那ケーブルテレビ「伊那市チャンネル」で放送しています。再放送も行っていきますので是非ご覧ください。チャンネルは次のとおり。

デジタル 11チャンネル
STB(デジタルチューナー)でご覧になる場合は

デジタル C 511チャンネル

次回9月定例会の詳しい放送予定は、「市報いな」9月号をご覧ください。

お知らせ

請願・陳情

請願・陳情は、定例会開会前に開催される議会運営委員会前日正午までに提出されたものを、その定例会で原則審査します。

ご提出いただきました質問・陳情は、定例会本会議で委員会へ付託し、審査報告の後、本会議で採決します。

次回9月定例会審査の受理期限は、8月23日正午です。(期限は、変更となる場合もあります。議会事務局へご確認の上でご提出ください。)

傍聴にお越しく下さい

6月定例会市議会は、131人の方が傍聴されました。市議会は、どなたでも傍聴できます。

なお、団体で傍聴される場合は席に限りがあります。



黒河内浩 議長

『高校生』初めての傍聴 -伊那西高校-

令和元年6月定例会において、一般行政に対する質問を行った6月19日と20日に、伊那西高校の2年生42人が傍聴にみえました。

実際に見て、また雰囲気を感じて、高校生がどう思ったのかを紹介します。高校生ならではの「気づき」があったようです。

議会中の雰囲気

- ☆教科書では分からない、議場の緊迫した空気を感じられた。
- ☆議会の傍聴を経験したことがなかったため、とても新鮮だった。論戦が繰り広げられた場面では、緊迫した雰囲気の中で、自分も緊張してしまった。実際に見て、聞いて、知ることができた。
- ☆目に入ってきたのは、iPadを全議員がもっていたこと。
- ☆一般の方が大勢傍聴していたことに驚いた。

意外と身近? 気づき…

- ☆意外と私たちに関係あることを話していることが分かった。普段何気なく自分たちが生活できているのは、市議会でたくさんの方の話し合いが行われているからだを知った。
- ☆自分が住んでいる地域で、何が問題で何が良いのか、住民が知ることはとても大切だと思う。
- ☆自分たちにも身近な防犯ブザーなど、具体的な事柄があり、自分で考えるきっかけになった。事故や事件が多いので安心して住める場所になってほしい。



市政に関心をもてるよう…

- ☆市政について興味を持ってもらうためには、どんな人にも伝わるようにゆっくり話をすることが大切だと思う。
- ☆難しい用語があり、理解しきれなかった。若い人に興味を持ってもらうためには、かみ砕いて分かりやすく伝えるのが重要だと思う。
- ☆市の問題は一人ひとりの問題で、他人事だと思っていけないと感じた。
- ☆色々な学校や団体で、市議会を知る機会を作ってもいいのではと感じた。
- ☆いつ、どこで、どんな人が何を行っているか知る機会となった。
- ☆自分の住んでいる地域の議会も見たい。



若者の声を生かす…

- ☆お金がかかるのを覚悟して大学を設立してくれたら、県内にいる人が増えると思う。
- ☆学生である自分たちの声が必要ではないか。
- ☆18歳になったら、選挙権がある。「なんとなく」という理由で投票をするのはもったいないことだと思う。
- ☆この機会を生かし、きちんと自分たちの代表を選びたい。



伊那市議会では、市民の皆さんに開かれた議会を目指して、「第5回市民と議会との意見交換会」を行います。8月20日、22日と市内6会場、各会場でテーマを設けます。

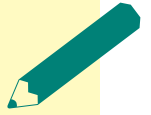
どの会場にもどなたでも参加ができますので、大勢の皆さんのご参加をお待ちしております!!

事前の申し込みは不要です。

- 受付:午後6時30分から
開始:午後7時から(午後9時終了予定)
- 託児を希望の方は、開催日の1週間前までに議会事務局にお知らせください。

.....
【お問い合わせ】 伊那市議会事務局
電話 0265-78-4111(内線 2811~2813)

第5回 市民と議会との 意見交換会



～あなたの意見が
伊那市を元気にする!～



今年はこの会場も、グループになって懇談するワークショップ形式で行います。
どの会場にもどなたでも参加できます!



8月20日(火曜日)

- ◆富県公民館(富県ふるさと館)
 - ・ 道路問題について
 - ・ 山林問題(松くい虫対策)について
- ◆西箕輪公民館(ぬくもり館)
 - ・ 観光地における諸課題について
サブテーマ
『人口増による住環境の整備について』
- ◆手良公民館(てらとぴあ)
 - ・ 道路・交通問題について
 - ・ 森林整備について



8月22日(木曜日)

- ◆東春近公民館(春近郷ふれあい館)
 - ・ 道路問題について
 - ・ 交通弱者(免許返納)について
- ◆長谷総合支所 2階
 - ・ 人口減少時代を迎えての地域活性化について
サブテーマ『地域資源をいかに活用するか』
- ◆いなっせ 5階
(生涯学習センター 501・502会議室)
 - ・ 通学の安全確保について
 - ・ 市街地の活性化について

主催 伊那市議会